

中原通信



文責 増永 善久



第2ステージがはじまりました

夏休みは、サマースクールやプール開放に参加する多くの子どもたちの姿が見られました。約5週間の休みを事故などもなく終え、学校には元気な子どもたちの声が戻ってきました。第2ステージも様々な学校行事が予定されています。運動会は9月14日(土)に終わりましたが、150周年記念行事も控えています。行事への参加等から「地域の方をはじめ様々な方々につながり」、自分自身の見識を広げ、「新たな自分」を発見し、子どもたちが自分の持つ力を伸ばしてくれたらと思っています。これからも積極的にいろんな方々とコミュニケーションをとり、つながりをつくってほしいです。また、保護者の皆さまには、第2ステージも第1ステージ同様、学校の様々な活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、夏休み期間中は、先生たちも学びを深めました。部落差別(同和問題)に関する学習会等に参加し、講話を聞きました。「自分自身には差別をしている心はないか?」「現代社会にある様々な差別に関して関心を持っているか?(自分のこととして捉えているか?)」など、再確認し、自分自身の人権意識を高める機会としました。夏休みはそれ以外に各教科や道徳、特別支援教育について学ぶ機会がありました。学んだことを子どもたちとの関わりのなかで生かしていかなければと思っています。

子どもたちの活動から

◎中原校区大運動会

9月14日(土)は、暑さが残る中でしたが、無事に運動会を終えることができました。子どもたちが、練習の時よりもいちだんと、全力で出場種目に取り組むとともに、しっかりと応援する姿に心を打たれました。

今年の大会スローガンは、『最後まで 全力でやりとげる 楽しい運動会』です。このスローガンは、全力でやり遂げることで地域に感謝したいという6年生の思いが込められています。運動会は学校行事の中でも、重要な行事の一つです。運動会当日まで、6年生を中心に応援団はもとより、ソーラン節、リレーなど様々な準備を進めてきました。6年生は、学校のリーダーとして先頭に立ち率先して行動するとともに、随所で丁寧に下級生に関わって、当日を迎えていました。その姿は、中原小のいい伝統だと感じました。その良き伝統もあり、一人一人が全力でやりとげ、楽しめた運動会になり、参加され方々が感動してくださっていたら幸いです。来賓の皆さまからは、子どもたちの頑張りを評価する声をいただきました。私自身、普段は見ることができない、子どもたちの新たな良さを見つけることができました。子どもたちも大会を通し、自分や友だちの新たな良さを発見することができていたらいいなと思っています。

※運動会のグランド整備や事前準備、当日の役割やあと片付け等、地域の皆さまや保護者の皆さまには大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

◎中原楽への児童の参加

9月18日(水)に熊野座神社秋の例大祭が行われ、本校からも多くの児童が中原楽に参加しました。運動会の疲れがあったのではないかと思いましたが、参加した児童は、最後までしっかりと楽を披露してくれました。子どもたちの姿に、ここでも感動しました。本年度は、いつもお世話になっている地域に貢献したいと思い学校の運営にあたっていますが、子どもたちがそれを体現してくれています。先日の熊日新聞に中原楽の記事が載っていました。保存会の会長さんの「中原地区全体で(中原楽を)継承しようという機運が高まってきた。子どもたちが大勢参加してくれてうれしい。」の言葉が印象に残っています。

150周年記念行事に向けて

11月2日(土)に行われます、150周年記念行事まで、いよいよ1ヶ月あまりとなりました。記念行事実行委員の皆さまと協議を重ね、プログラムの内容や役割分担などがほぼ決まってきました。学校でも、運動会が終わりましたので、本格的に150周年記念行事に向け動き始めました。子どもたちの思い出に残る記念行事になるように、学校としてもしっかりと取り組んでいきます。



1年生による開会の言葉



ソーラン節



中原楽より